

新潟市の 国保をよくする会ニュース

No.2 2020年 1月 15日

高すぎる国保料は引き下げて！！ 新潟市に署名 5,709 筆を提出 (第1次分)

1月14日、新潟市の国保をよくする会は、国保料の引き下げを求める請願署名の第1次分として、5,709筆を新潟市に提出しました。新潟市は佐久間福祉部長が署名を受け取りました。

署名提出に引き続き、国保料引き下げの要請を行いました。

佐久間福祉部長は、新潟市が県国保に納める納付金の額が、国で算定間違いがあったため県から再算定を行うとの連絡があったと話し、納付金額の算定結果を見た上で、国保運営協議会の諮問の答申を踏まえて慎重に検討したい、と説明することとなりました。

現在の国保基金30億円を使って国保料を引き下げてほしいとの意見に対しては、基金の活用は国保会計の将来的な持続可能性を考えて検討する必要がある、と消極的な姿勢に終始しました。

子どもの均等割保険料の減免の要望に対しては、保険料を軽減した分を他の人が負担しなければならず“負担の公平性”から整理すべき課題がまだまだあるとして、検討する姿勢は見られませんでした。

また、保険料引上げで国保会計の赤字を埋める場合として出された国保料試算については、あくまでもシュミレーションでどの位の保険料引き上げが必要かをイメージしてもらうためのものとの答弁があり、参加者から均等割・平等割（応益割）が上がるのは低所得者への負担増に直結することから、やめるべきとの厳しい意見が出されました。

均等割軽減や基金積立は一般会計からの繰入が可能であり、署名に託された要望は市の判断で実現できると指摘し、市民の負担を少しでも減らすようにと強く要請を行いました。



新日本婦人の会鈴木新潟支部長（右）から署名を受け取る新潟市佐久間福祉部長

値上げさせないよう、引き続き署名を集めましょう

このままでは、国保料値上げが現実のものになってしまう可能性が大きくなっています。1月いっぱいには署名を継続し、2月初めに再度署名提出を行う予定です。値上げは絶対に許さないよう、一人でも多くの方から署名していただきましょう。